

# 旭岳噴煙調査報告 (附圖參照)

## 旭川測候所

		昭和三年八月十一日				昭和二年八月二十八日				大正十五年七月二十五日			
		噴煙 強弱	噴煙 溫度	雜	記	噴煙 強弱	噴煙 溫度	雜	記	噴煙 強弱	噴煙 溫度	雜	記
下部	イ	0	?			1	90.1			1	—		
	ロ	2	96.3?	吹上強、昨年より硫黄多量		2	96.2?	吹上強		2	—		
	ハ	2	148.0	昨年より硫黄多量		1	100.8			2	99.1	噴煙強	
	ニ	1	97.0			0	94.1			0	—		
	ホ	2	149.1	音響強、昨年より硫黄多量		2	122.8	音響強		2	—	音響強	
中部	ヘ	1	?	噴汽孔小		1	95.1			1	—		
	ト	2	?	音響、吹上強、昨年より硫黄多量		2	100.8	音響強		2	—		
	チ	2	105.0			2	101.0			2	—		
	リ	0	?	硫黄塔		0	?	高所より約2米1、低所より約3米		0	—	硫黄塔	
	ス	0	?	温泉涸		0	?	温泉あり		?	—		
上部	ル	0	?			0	?			?	—		
	オ	0	?	小噴煙數ヶ所あり		0	?	同上		?	—		
	ワ	1	93.0			1	94.2			1	—		
	カ	0	?	小温泉あり		?	?			?	—		
	ヨ	0	96.5			0	?			1	97.0		
	タ	0	96.0			?	?			?	—		
レ	0	96.0			0	96.0			?	—			

北	上	ソ	0	96.8		?	?		?	—
		ツ	0	97.5		1	91.8		1	—
		ネ	1	?		1	?		1	—
		ナ	2	139.8		2	92.0		2	—
		ラ	2	?	吹上強、音響最強	2	?	音響最強	2	—
	下	ム	2	?		2	?		1	—
		ウ	1	96.0		2	96.0		2	—
		キ	0	?		0	?		1	—
		ノ	0	?		0	?		1	—
		マ	0	94.7		0	?		2	—
	シ	0	94.6		0	?		?	—	

備考 昭和參年噴烟温度昇騰せし如くなるも實際高まりたるものなるや又は觀測ヶ所が好位置を得し爲めか疑を存ず。

0 は微、1 は弱、2 は強

温泉温度			
	昭和參年	昭和二年	大正十五年
I	温泉濁湯	92.2	•
II	前	93.5	•
III	前	93.8	•



Ⅲ	・同	92.5	・
Ⅴ	・温泉涸湯	92.2	91.3
Ⅵ	91.0・泥土沸騰	89.7	92.0 岩穴小砂利沸騰
Ⅶ	・温泉なし	89.7	91.3 岩裂口
Ⅷ (カ)	・温泉小量	93.0	・

備考 温泉は深層より湧出するものにあらざるが如く、爲めに涸渴する事あり。

## 鳴動に就き報告

### 和歌山測候所

本縣下箕島町に於て近時鳴動有之候に付き其狀況左記の通り報告候也。

#### 鳴動に就き報告

- 一、場所 和歌山縣有田郡箕島町大字辰ヶ濱黒松某氏方附近面積四五十坪（少しく隔りたる地點にては鳴動を感じざるが如し）
- 二、鳴動 去る昭和三年三月二十七日以來毎夜鳴動あり其の音は遠方にて大砲を發したるが如く震動は上下動なるが如し、尤も晝間に於ても鳴動を感じたることあり。
- 三、鳴動 に對する人身感覺鳴動の地内には三軒長家あり其二軒は現在空家にして近隣に於ては最初